

2016年 スウェーデン・マルメ研修を終えて

古賀歯科クリニック 坂田絢美

念願だったマルメ研修が終わり帰国した現在、研修での全ての物事に対して感慨深く思う中、感想文を書いています。

マルメ研修に参加するにあたり、「マルメの地で何を感じ取ることができるのか？」という思いで参加させていただきました。それは常々、自ら現地に赴いて情報を肌で感じ取ることの重要性を聞いていたからです。

ダン先生はじめ、多くの講師の方々の講義を通して感じたことは、スウェーデンの医療は、やはり全てがエビデンスに沿ったものであり、それが徹底されていてシンプルだということです。エビデンスが低いものや分からないものは、はっきりと分からないと言われていたところにも納得しました。

今回の研修は、医院から一人での参加ということもあり、期待と不安が入り混じった状態で当日を迎えていました。しかし、いろいろな状況でそれぞれ奮闘されている先生や歯科衛生士の方々と交流できたことで、こんな仲間もいるのだとたくさんの刺激をもらい、充実した日々を過ごすことができました。

今回の体験や出会いは、私の歯科衛生士人生においてとても価値のあるものとなるでしょう。実際にマルメの地に降り立ち、自ら見て聞いて全身で感じたことで、これまで学んできたことが確信へと変わった今、ライセンスをもつ一人の歯科衛生士として、それをどう生かすべきなのかをさらに考えさせられたとともに、歯科衛生士であることを誇りに思う研修となり、非常に感謝しております。

患者さんや地域の方々、社会に貢献できる、本当の意味でプロの歯科衛生士を目指したいと思います。